

天神川流域だより

創刊号
2001年4月

編集・発行：天神川流域会議事務局 〒682-0018 倉吉市福庭町 1-18 国土交通省倉吉工事事務所調査設計第一課
Tel 0858-26-6221 Fax 0858-26-6299 本誌へのお問い合わせは <http://www.kurayosi-mlit.go.jp/> E-Mail kurayosi@cg.mlit.go.jp

「天神川流域会議」発足！！ ふるさとの川を軸として中部圏の地域交流を活発化！

天神川流域を流れる川を軸として、鳥取県中部圏の地域交流を活発化していこうと、「天神川流域会議」が発足しました。

この会は、天神川や、国府川、小鴨川、三徳川等の“ふるさとの川”を軸に、上中下流の交流を活発化し、地域の歴史・文化を活かした特色ある流域をつくらうというものです。そして、安全でうるおいのある、親しみやすい天神川をつくることも目的にしています。

対象地域は、倉吉市・羽合町・東郷町・三朝町・関金町・北条町・大栄町の1市6町です。

昨年12月1日（金）に、倉吉市で開催された発足会では、流域各地の活性化を目指し活動している方々や、学識経験者、流域自治体の代表、河川管理者等が集まり、発足の趣旨を確認し合い、会の規約の承認、役員選出が行われました。

会長には森本満喜夫氏（倉吉北高等学校参事）が選ばれ、副会長には生田昭夫氏（建築家）・中村見自氏（大岳院住職）と御舩道子氏（三朝温泉かじか蛙保存研究会代表）が選ばれました。事務局は、国土交通省倉吉工事事務所調査設計第一課に置くこととなりました。

その後、鳥取大学道上正規副学長（当時、現学長）から、伝説の生き物“河童”が住むことができるような“ふるさとの川”を取り戻そうというご講演があり



ました。

活動方針としては、流域内での情報交換・情報発信、「天神川の日」の制定、イベントの連携による流域交流、流域の歴史・文化の発掘・紹介、テーマを決めた合同調査などがあげられました。（文責：事務局）

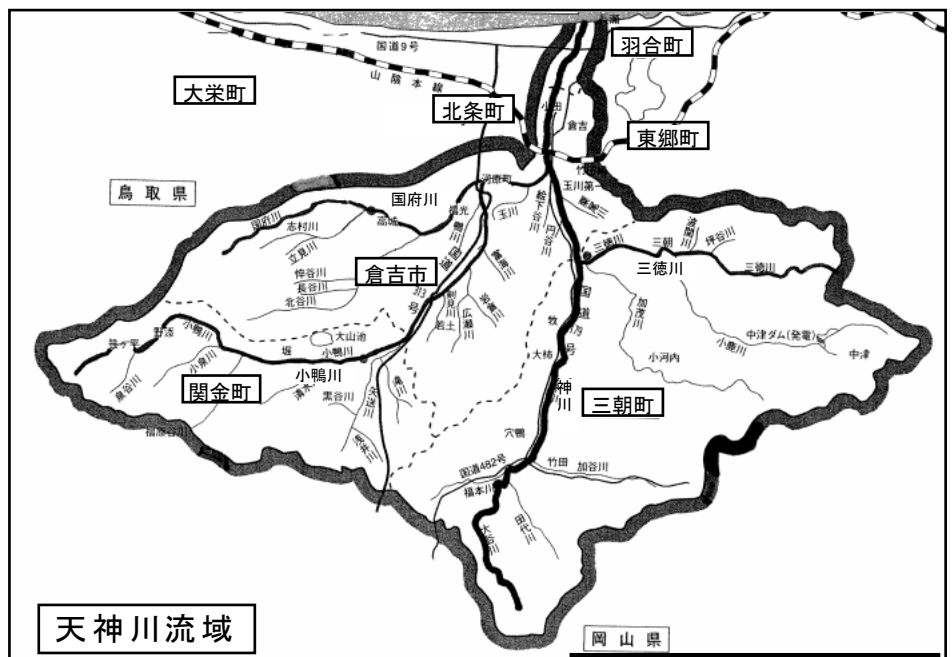
「天神川流域会議」の活動目標

- 会員相互の情報交換
- 流域全体への情報発信
- 観察、調査等の活動を通じた上中下流の交流
- 水環境の保全や改善とその啓発・教育
- 生態系の保護
- 流域の歴史・文化の愛護
- 流域の活性化に資する活動
- 今後の天神川づくりに関する意見交換及び提案
- その他、会議の目的に合致するもの

天神川流域会議の対象範囲

「天神川流域会議」の活動は、流域（降った雨が流れ込む範囲）だけでなく、天神川の氾濫で水に浸る恐れのある地域や、流域の水を農業等に利用する地域も対象としています。このため、天神川に直接接していない地域も含まれます。

つまり、倉吉市・羽合町・東郷町・三朝町・関金町・北条町・大栄町の1市6町は、“天神川流域の水”でつながっているのです。すなわち、水でつながった中部圏を対象として、ふるさとの川を軸に地域交流を活発化するものです。



裏面もご覧ください→

天神川流域の活性化に向けて

会長 倉吉北高等学校 参事 森本満喜夫



天神川流域会議の発足にあたり、図らずも会長という大任を仰せつかりました森本です。到底その器ではありませんが、委員の方々から折角勉強の機会をお与え下さったと思ひ直し、お引き受けする次第です。何卒、ご指導、ご鞭撻をお願いします。

21世紀は環境の時代、心の時代とか言われています。前世紀までが余りにも人間中心、利潤追求に走りすぎたからだったのでしょうか。そして、地球規模で考えると多くの行きすぎ、過ちに気付いたからでしょうか。さらに生態や環境を無視しては、私たちの人類の未永い生存が保証されないことが分かってきたからでしょうか。

悠久の昔より四季折々の顔を見せ続ける天神川。豊かな水を集めて日本海に注ぐ天神川の恵の中で、私たちは生かされてきたことを今ようやく知ることができました。

私の住む倉吉市下田中沿いの土手に立つと、天神川がとても愛おしく、かつ偉大な存在に見えてきます。上流域はまだ深い根雪の中にあり、下流域は早くも春の息吹を感じ、草木や小魚たちが長い冬眠から目覚めようとしています。ハスやアユが、スマレやタンポポの花が私たちを誘いだし、和ませる季節はもう目の前です。

この天神川を核に、行政、民間団体、さらに住民が1つの輪になって、流域内の歴史、文化、自然を探索しながら、各種のイベントづくり、環境に優しい川づくりの夢などを大いに語り合おうではありませんか。

天神川流域会議が、流域内の多くの皆様に認識され、将来大きく羽ばたくことを願って挨拶といたします。

■流域会議の会員紹介

天神川流域会議の会員メンバーは、流域1市6町の市長、町長、大学や高校の先生等の他、会議の趣旨に賛同する民間団体の代表者や個人、国土交通省、鳥取県の行政関係者等で構成されています。現在、行政関係者を除く会員は以下の通りです。

学識会員

6名 (7位中順)

安藤重敏	鳥取県立博物館学芸課長
野津和功	鳥取短期大学教授
檜谷治	鳥取大学工学部助教授
道上正規	鳥取大学学長
森本満喜夫	倉吉北高等学校参事
山田修平	鳥取短期大学教授

地域会員

28名 (7位中順)

秋山一郎	三朝町消防団長
生田昭夫	建築家
石橋雄一	社団法人倉吉青年会議所理事長
伊藤美都夫	鳥取県漁業協同組合連合会
大本淳司	中国電力株式会社倉吉電力所所長
小椋泰明	新緑会会長 (関金町清流遊YOU村)
角原重利	成徳地区玉川を美しくする会会長
岸本勉	日本野鳥の会鳥取県支部副支部長
言水賀徳	株式会社新日本会新聞社中部本社
崎上田鶴子	関金町立中央保育所所長
佐藤幸子	植物を楽しむ会代表
里見泰男	赤瓦常務
武内恵子	みこしネット“風雅”
寺地敦夫	東伯東部会会長 (三朝温泉郵便局長)
中村見自	大岳院住職
福井千秋	鳥取県民読書推進運動協議会 (本の学校事務局次長)
福嶋泰夫	日本山岳会山陰支部会長
福田京子	鳥取県ジゲおこし団体連絡協議会
前田明範	倉吉博物館館長
前田六仁	倉吉商工会議所議員
増田英之	関金町商工会青年部長
松尾龍平	倉吉ニホンリスの会会長

松原梓	陣所の館
御船道子	三朝温泉かじか蛙保存研究会代表
森下洋一	鳥取県中部森林組合組合長
山崎一彰	東伯郡東商工会協議会 (三朝町商工会事務局長)
山崎賀津雄	天神川漁業共同組合組合長
山田博	羽合土地改良区理事長

流域の行事案内

◆天神川一斉清掃

と き：4月15日(日) 午前7:00~8:00

問合せ：国土交通省倉吉工事事務所河川管理課

Tel 0858-26-6221

◆カジカガエルの声を聞く夕べ

と き：6月8日(金)~7月20日(金)

毎週金曜日 20:00~

場 所：三朝町恋谷橋付近

問合せ：三朝温泉かじか蛙保存研究会

Tel 0858-48-0521

◆事務局からの伝言

「天神川流域だより」とは？

天神川流域会議の活動目的の一つとして、「流域全体への情報発信」があります。

この一環として、「天神川流域だより」を定期的に発行し、会議の報告を行うとともに、様々な流域情報を皆様に発信していきます。

本情報誌は、流域の水でつながった1市6町の全世帯に定期的に配布する予定です。川や流域に関する耳寄りな情報、ご意見、ご提案などありましたら事務局(表面参照)までお気軽にお寄せください。